



今年に夏は **本当に!** 暑いですね。

世界的温暖化の影響でしょうか? 今までにない暑さを感じる毎日です。連日、日中の気温が40度に近いところもあって本当に大変です。鑄造工場の作業環境はもっと大変ですが、社員の皆さんはそういう中で頑張っています。



鑄造工場内は42°Cの暑さです。暑さで事故が起きないように操業は朝6時から夕方3時までの朝シフトで真夏の暑さを乗り切ります。



暑い日中の外の温度はどうなんだろう? とルミナス本社前の気温を測定しました。日陰の無い照り返しの強い玄関前の気温は、ななんと! **47.4°C**です。この写真のように、会社の外窓が鏡の役割をしてすべての熱を反射してしまうので、異常な暑さになっています。せめてもの熱対策として室内は朝顔でグリーンカーテンの予定でしたが、朝顔の成長が追いつきません。



普段は行きかう人の多い駅前の交差点もほとんど人がなくて、あまりの暑さに、熱中症になる人も出ています。



13年前にも同じセミを見たのですが、目が赤くて結構不気味なセミです。セミの鳴き声は右記のQRコードからアクセスしてください。現地で録音してきました。👉

報告：ところが、2024年の7月、当社の拠点があるアメリカ、イリノイ州で13年ゼミと17年ゼミが221年ぶりに同時大量発生して数億匹の素数蝉※が、(一説には1兆匹と言われています)発生するという事です。前回発生したのは1803年米国がフランスからルイジアナ州を買い取った年...だそうで。

日本で言えば江戸時代、何があったのでしょうか?

←詳しい説明は下記の動画サイトからアクセスしてください  
(あまり気持ち良いものではありません)

[イリノイ州の蝉の鳴き声 - YouTube](#)

※素数蝉：素数というのは、1と自分でしか割れない数字のことを言います。例えば5や7、11、13は1とそれ自体でしか割れないので素数と言います。8は2と4で割れるので素数ではありませんし、21は3や7で割れるので素数ではありません。ではなぜ「素数ゼミ」かということ、成虫になるまで地中に幼虫でいる期間が、13年と17年だからです。13年ゼミ、17年ゼミとも言います。通常は5年ですからずいぶん長い期間地中にいるセミです。これが一気に同時に出てきた!